

プリント学習

4月からプリント学習が始まっております。本格運用していくにあたり、本来は自主的に印刷をご依頼いただく想定ですが、しばらくの間は定期的に数部のプリントを配布することもさせていただきます。どんなプリントがあるか把握してもらいながら、ご依頼方法などを学んでいただきたいと思います。もちろん、ご依頼いただいて印刷することもできます。ご協力よろしくお願い致します。

業者テストのご案内

当塾は山形県統一模試、山形県もぎ、二種類の模擬試験会場となっております。今年度から、株式会社 Nais の「中学生志望校判定テスト」、「小学生学力判定テスト」を追加導入致します。

まず、導入する最大の理由は、「小学生が学力を知る機会を作る」ことです。学校で行われるプリント形式のテストはその単元の理解を確認するうえでは一定の目安となりますが、学力を知る機会としては適しておりません。中学生のような定期試験もなく、通知表の成績も根拠が少なく実体とずれた評価となっていることも少なくありません。特に英語においては、中学生になった時点での学力差が大きく、気付きが遅れるほど、そのリカバリは難しくなります。

中学生は試験が三種類となります。全て受けても良いのですが、試験は消化することに大きな付加価値があります。試験ばかりで復習する時間を作れなければ時間の浪費につながります。どの試験を受験するか計画をたて、効果的なご利用をお願い致します。目安としては、普通科高校であれば消化できるのであれば全て受けた方が良いです。実業高校の場合は、早い段階で学力を知る試験、勉強が効果的に行われているかの確認の試験、最終チェックとなる試験の三回をベースに考えていただくと良いかと思えます。

「山形県統一模試」は山形県公立高校の試験内容に模して作られています。やや難易度が高い事と、採点基準が高すぎる事が懸念点として挙げられますが、こちらの試験が最も効果的かと思えます。

「山形県もぎ」は山形県の試験に合わせて作られているわけではないため、「入試問題の練習」としての効果はやや劣ります。しかし、学力を図る上では申し分のない試験となっております。中学3年生が7月以降に毎月受験できることが強みになります。

「中学生志望校判定テスト」も山形県もぎ同様、山形県板ではありません。しかし、全国各地で行われる試験でもあり、こちらも学力を図る上では十分な試験となっております。受験直前の問題を確認できておりませんので、どこまで効果的かはやや不明瞭な状況ではございます。中学1,2年生が受験できる機会が多い(3年生と同じ年6回)点が強みになります。

旧料金システムの方がオプションで模擬試験をつけた場合、すべての試験が対象となります。新料金システムの方は、原則塾指定の試験を受験いただき、追加で受験を希望頂く場合はお申し出ください。効果的にご利用いただけるのであれば、追加の料金は掛かりません。

受験日やお申し込み方法等は別途ご案内させていただきます。

営業日・営業時間変更のお知らせ

先にご案内しております通り、4月から営業日・営業時間が変更となります。終了時刻が22時まで、金曜日が営業日となり、月末がお休みとなります。カレンダーをご確認の上、計画的にご利用いただきますようお願い致します。

以上、よろしくお願い致します。